

1. 新たな機能のお支払事由

(1) 特定疾病診断年金特則

被保険者が収入保障の年金部分の保険期間中に以下の3大疾病に罹患し、所定の状態になった場合にお支払いいたします。

3大疾病	お支払事由
悪性新生物 (がん)	責任開始期の属する日からその日を含めて90日を経過した日の翌日以後に、初めて悪性新生物(がん)に罹患し、医師により診断確定されたとき ただし、上皮内がん、皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚がんを除きます。
急性心筋梗塞	責任開始期以後の疾病を原因とした急性心筋梗塞の発病により、初めて医師の診療を受けた日からその日を含めて60日以上、労働の制限を必要とする状態(軽い家事等の軽労働や事務等の座業はできるが、それ以上の活動では制限を必要とする状態)が継続したと医師によって診断されたとき
脳卒中 (脳梗塞、くも膜下出血等)	責任開始期以後の疾病を原因とした脳卒中の発病により、初めて医師の診療を受けた日からその日を含めて60日以上、言語障害、運動失調、麻痺等の他覚的な神経学的後遺症が継続したと医師によって診断されたとき

【具体事例】

お支払いできる場合	お支払いできない場合
胃の浸潤がんと医師によって診断された場合	子宮の上皮内がんと医師によって診断された場合
急性心筋梗塞となり、初めて治療を受けたが、初診日より60日目を経過しても、労働制限を医師に指示されており、職場復帰できず、自宅療養を継続している場合	狭心症により治療を受け、初診日より60日間、労働制限が継続していると医師の診断を受けた場合
脳梗塞となり、初めて治療を受けたが、初診日より60日目を経過しても、言語障害として神経学的後遺症が継続していると医師が診断した場合	脳ドックを受けたところ、脳梗塞があると指摘され、医師より投薬の処方と経過観察を指示されたが、特に症状がない場合

(2) リビング・ニーズ特約(特定状態保険金)

被保険者が余命6か月以内と判断された場合に、特定状態保険金をお支払いいたします。

【具体事例】

お支払いできる場合	お支払いできない場合
被保険者の余命は6か月以内であると医師に診断された場合	被保険者の余命は、あと1年から1年半程度であると医師に診断された場合

2. ご契約例・仕組み図

プレミアムW

<ご契約例> (契約者・被保険者：30歳/男性)

保険料払込期間……………60歳払済

積立利率変動型終身保険[低解約返戻金特則付]……………基本保険金額500万円

収入保障特約[定額型・最低支払保証期間5年][特定疾病診断年金特則付(月額10万円×12月×2年)][解約返戻金のない特約に関する特則付]……………保険期間70歳満了/年金月額20万円

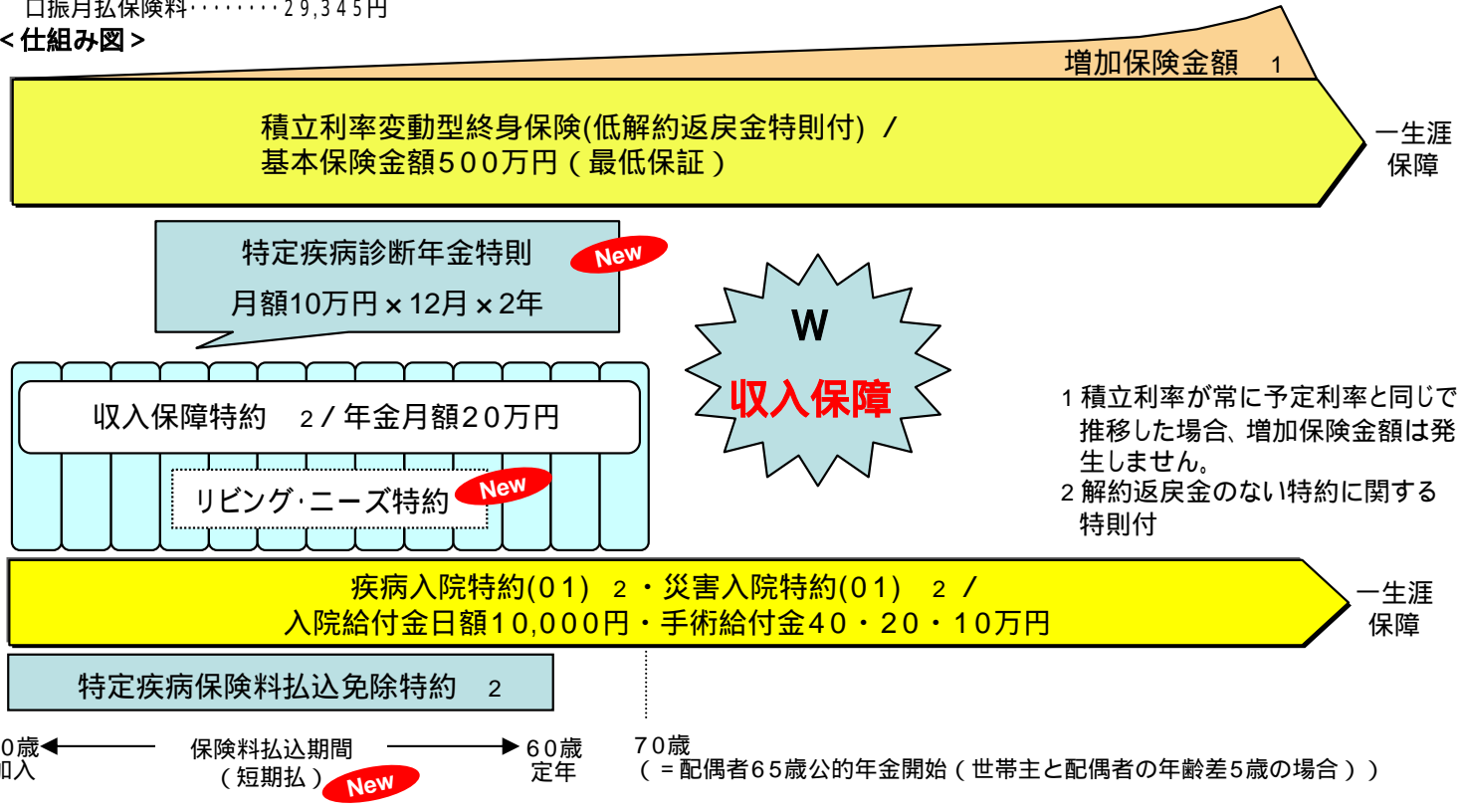
疾病入院特約(01)・災害入院特約(01)[本人型・120日型][解約返戻金のない特約に関する特則付]……………保険期間終身/入院給付金日額1万円

特定疾病保険料払込免除特約[解約返戻金のない特約に関する特則付]……………保険期間60歳満了

リビング・ニーズ特約

口振月払保険料……………29,345円

<仕組み図>



ジャストワンW

<ご契約例> (契約者・被保険者：30歳/男性)

保険料払込期間……………60歳払済

新収入保障保険[特定疾病診断年金特則付(月額10万円×12月×2年)][解約返戻金のない保険契約に関する特則付]

年金部分[最低支払保証期間5年]……………第1保険期間70歳満了/年金月額20万円

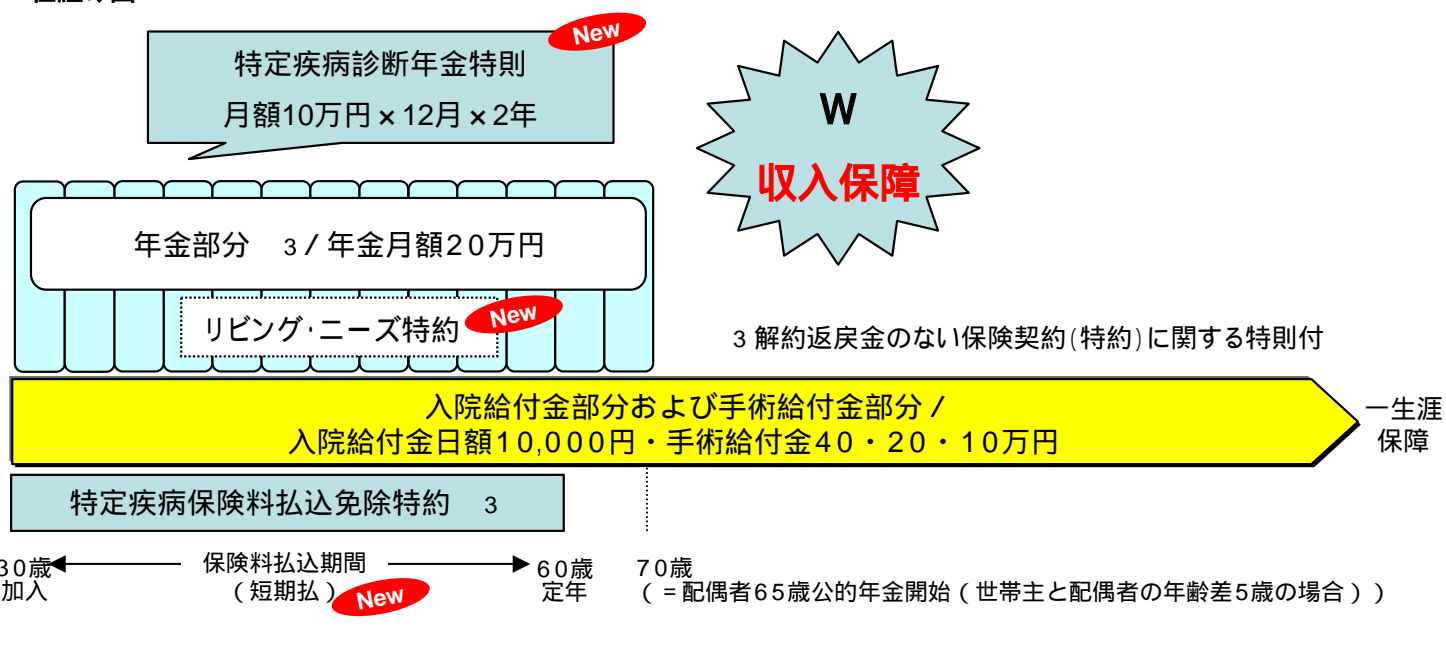
入院給付金および手術給付金部分[60日型]……………保険期間終身/入院給付金日額1万円

特定疾病保険料払込免除特約[解約返戻金のない特約に関する特則付]……………保険期間60歳満了

リビング・ニーズ特約

口振月払保険料……………19,260円

<仕組み図>



<ご参考>

認定特定非営利活動法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）

- Japan Committee, Vaccines for the World's Children -

URL : <http://www.jcv-jp.org>



(1) 沿革

- 1994年 : 設立
- 2002年 : NPO法人格取得
- 2006年7月 : 認定NPO法人認可取得

(2) JCVの理念（活動内容）

予防可能な感染症で命をおとす子どもたちが数多くいるミャンマー、ラオス、ブータンなどの途上国に、ワクチンを贈る目的で募金活動を行っています。

そしてこの活動を通して、地球規模の視野をもったボランティアを育成し、活動の推進にも力をいれています。

また、ただワクチンを届けるだけでなく、ワクチンを運ぶ自転車、保存するための冷蔵庫を贈るとともに、医師や医療技術者などを育て、被支援国が継続的、主体的にワクチンを管理できるように活動をしています。

- * ワクチンとは、感染症を予防するための免疫をつくる物質で、はしか、ポリオ（小児まひ）、百日咳、破傷風、結核、ジフテリアのような病気を防ぐことができます。